

社会福祉法人花の会
第4共働舎花の会(生活介護)

「導入ICT機器名」導入による生産性の向上

課題

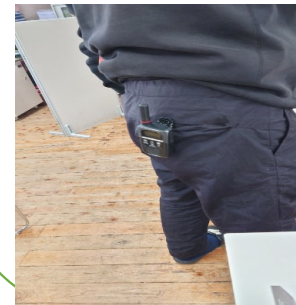
職員1名につき複数の利用者と活動していることが多いが、個別対応や来客、電話対応、緊急時対応などに随時対応する必要がある。その場を離れる際は職員間で声を掛け合っているが、生産活動で生じる音や利用者の声なども大きく聞こえづらいことが多い。ヘルプを呼ぼうにも持ち場を離れられないことも多くヘルプが呼べないことも多い。また、様々な対応を行いながら、情報が随時入ってくるので、報告漏れも多く、職員間で言った言わないといった情報伝達の齟齬が生じる。リサイクルショップなどの店舗では接客対応もあるため、職員間の連携が必要であるが、店舗とバックヤードで空間的に分断されているため職員間の連携が取りにくい。

インカム

機器導入

成果

業務上の質の向上
リアルタイムで職員同士が連絡を取り合うことができるため利用者から目を離したり、生産活動を一時休止することがなくなった。(1件あたり15分→1分)



ICT機器等を導入した業務内容(概要)

- ・作業時のスムーズな連携、対応、メンバーの安全確保、・電話対応、引継ぎの効率化、・移動距離の短縮、・報告の忘れの軽減、・Bluetooth機能を使用することで、携帯にかかってくる電話もインカムで対応可能になる。
- ・インカムの有効範囲は市街地でも1kmをカバーしているため、店舗のチラシポスティングなど外出作業であっても職員間のコミュニケーションがリアルタイムで行えるようになる。

事業所におけるICT機器等導入の推進方法

インカムを各職員に配布して、使用方法の研修会を実施。その中で、どのチャンネルで通信を行うか、電波混線時には、どのチャンネルで通信を行うか等のルールを決めて文書化した。
導入業者には無線局登録にあたっての助言を得た。